



令和 8 年度

第 1 回 理 事 会 ・ 定 時 評 議 員 会  
開 催 さ れ る

今年度の第1回理事会が5月20日、定時評議員会6月3日に開催されました。

定時評議員会では、任期満了に伴う理事の選任や辞任等に伴う評議員と監事の選任を議決しました。

定例評議員会の終了後、臨時理事会が開催され、会長の選定が諮られ、樋渡会長が再任されました。主な決議内容は次のとおりです。

◆ 理事会

【承認事項】

- ① 令和 7 年度事業の概要報告
- ② 令和 7 年度会計決算承認
- ③ 監査報告
- ④ 役員等の候補者の推薦
- ⑤ 第63回秋田県消防操法大会について

◆ 評議員会

【議事】

- ① 令和 7 年度事業の概要報告
- ② 認定第1号 令和 7 年度会計決



算承認

- ③ 監査報告
- ④ 役員等の選任

【報告事項】

- ① 令和 8 年度事業計画・収支予算
  - ② 第63回秋田県消防操法大会について
  - 【その他】
- 各種共済制度について

題 字  
初代会長 松野盛吉

発行人  
〒010-0951  
秋田市山王四丁目1番2号  
秋田地方総合庁舎内  
秋田県消防協会  
会長 樋渡 徹  
電話 018-867-7320  
FAX 018-863-5910  
<http://www.shoubou-akita.or.jp>  
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷  
〒010-0951  
秋田市山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760  
<http://www.matsubairainsatsu.co.jp>

一般財団法人秋田県消防協会 理事・監事・評議員 (令和8年6月3日現在)

〔理事〕

役 職	氏 名	所属・階級等
会 長	樋 渡 徹	横手市消防団 団長
副 会 長	阿 部 一 彦	由利本荘市消防団 団長
"	渡 邊 正 人	能代市消防団 団長
"	佐 藤 良 和	秋田市消防本部 消防長
理 事	佐々木 直 人	秋田県総務部総合防災課 消防保安室 室長
"	武 田 博 康	大館市消防団 団長
"	近 野 仁	湯沢市消防団 団長
"	鈴 木 重 浩	秋田市消防団 団長
"	内 田 清 隆	鹿角市消防団 団長
"	齊 藤 英 一	男鹿市消防団 団長
"	田 村 健 郎	大仙市消防団 団長
"	長 澤 政 信	大曲仙北広域市町村圏組合 消防本部 消防長
"	泉 政 樹	能代山本広域市町村圏組合 消防本部 消防長
業務執行理事	鈴 木 嘉 司 憲	秋田県消防協会 事務局長

〔監 事〕

役 職	氏 名	所属・階級等
監 事	長 岐 邦 雄	北秋田市消防団 団長
"	千 葉 與 右 工 門	五城目町消防団 団長
"	原 田 千 代 志	羽後町消防団 団長

〔評議員〕

役 職	氏 名	関係する消防機関
評議員長	石 井 義 則	三種町消防団
評 議 員	亀 田 晃	小坂町消防団
"	渋 谷 照 幸	鹿角市消防団
"	木 村 正 樹	鹿角広域行政組合消防本部
"	加賀谷 和 敏	上小阿仁村消防団
"	笹 村 清 幸	八峰町消防団
"	伊 藤 孝 年	藤里町消防団
"	古 戸 信 雄	潟上市消防団
"	松 田 一 成	八郎潟町消防団
"	三 浦 公 德	井川町消防団
"	三 浦 修	大潟村消防団
"	杉 本 正 人	男鹿潟上消防本部
"	加賀谷 速 人	秋田市消防団
"	佐々木 一 祐	秋田市消防団
"	佐 藤 幸 毅	にかほ市消防団
"	阿 部 昭 彦	由利本荘市消防団
"	下 田 忠 浩	仙北市消防団
"	佐々木 吉 則	美郷町消防団
"	泉 昌 宏	横手市消防団
"	小 松 雅 樹	横手市消防団
"	高 田 俊 之	横手市消防本部
"	小 田 原 克 己	東成瀬村消防団
"	菅 原 正 則	湯沢市消防団

令和 7 年度決算〔正味財産増減計算書〕

(2025年 4 月 1 日～2026年 3 月 31 日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	
経常収益計	29,576,901	30,650,844	△ 1,073,943	
主 な 内 訳	消防互助会掛金	4,457,700	4,618,200	△ 160,500
	事業収入	132,000	132,000	0
	補助金・交付金	7,568,770	7,851,467	△ 282,697
	委託金	4,379,100	3,741,600	637,500
	市町村負担金	5,248,094	5,248,015	79
	会 費	6,171,200	6,397,200	△ 226,000
	その他経常収益	1,620,037	2,662,362	△ 1,042,325
経常費用計	27,588,037	29,919,847	△ 2,331,810	
主 な 内 訳	消防思想普及啓発事業費	892,712	899,500	△ 6,788
	教養研修事業費	925,176	996,950	△ 71,774
	秋田県消防大会費	881,819	832,627	49,192
	消防操法大会費	2,579,130	2,577,457	1,673
	消防団加入促進事業費	1,248,500	629,952	618,548
	福祉増進事業費	1,176,400	1,210,560	△ 34,160
	消防互助会見舞金	1,240,000	1,400,000	△ 160,000
	その他の事業費	3,937,212	4,805,388	△ 868,176
	管理費	14,707,088	16,567,413	△ 1,860,325
当期経常増減額	1,988,864	730,997	1,257,867	
当期一般正味財産増減額	1,988,864	730,997	1,257,867	
一般正味財産期首残高	118,370,458	117,639,461	730,997	
一般正味財産期末残高	120,359,322	118,370,458	1,988,864	



令和 8 年春の叙勲及び第 46 回危険業務従事者叙勲の受章者が 4 月 29 日発令されました。

本県の消防関係では、叙勲 20 名、危険業務従事者叙勲 8 名の方々が受章され、5 月 8 日に秋田県庁正庁において、知事伝達式が行われました。

受章者の皆様、誠におめでとうございます。

令和 8 年春の叙勲・褒章  
第 46 回 危険業務従事者叙勲

- |                      |                       |                       |                      |                     |                      |                       |                      |                    |                      |                     |                     |
|----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|---------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|--------------------|----------------------|---------------------|---------------------|
| 元秋田市消防団<br>分団長 佐藤 勇二 | 元秋田市消防団<br>分団長 佐々木 準一 | 元横手市横手消防団<br>分団長 黒澤 榮 | 元男鹿市消防団<br>分団長 木元 政勝 | 元大仙市消防団<br>副団長 小原 勝 | 元五城目町消防団<br>分団長 一関 久 | 元湯沢市消防団<br>副団長 阿部 千代志 | 元秋田市消防団<br>分団長 足利 正雄 | 元大潟村消防団<br>団長 松橋 稔 | 元上小阿仁村消防団<br>団長 武石 聡 | 元湯沢市消防団<br>団長 佐藤 孝吉 | 元仙北市消防団<br>団長 佐藤 乃三 |
|----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|---------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|--------------------|----------------------|---------------------|---------------------|
- ◆瑞宝単光章 (16 名)
- ◆瑞宝双光章 (4 名)
- 令和 8 年春の叙勲

元横手市消防団

副 団 長 佐藤 洋幸

元東成瀬村消防団

副 団 長 平良 肇

元美郷町消防団

分 団 長 高橋 秀勝

元横手市消防団

副 団 長 珍田 藤雄

元能代市消防団

副 団 長 土田 一男

元美郷町消防団

副 団 長 照井 正明

元仙北市消防団

副 団 長 戸村 純厚

元大館市消防団

分 団 長 山本 順貴

第46回危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章(4名)

元秋田市

消 防 監 越後屋 光晴

元湯沢雄勝広域市町村圏組合

消 防 指 令 長 武石 稔

元男鹿地区消防一部事務組合

消 防 司 令 長 三浦 和也

元秋田市

消 防 監 三浦 直志

瑞宝単光章(4名)

元由利本荘市

消 防 司 令 阿部 敏明

元由利本荘市

消 防 司 令 軽部 博

元大曲仙北広域市町村圏組合

消 防 司 令 長 小松 一智

元大曲仙北広域市町村圏組合

消 防 司 令 長 永井 守

新消防長紹介

【令和8年4月1日就任】



秋田市消防本部  
佐藤 良和



大曲仙北広域市町村圏組合消防本部  
長 澤 政信



大館市消防本部  
佐々木 洋一



湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部  
小野 悟

新消防団長紹介

【令和8年4月1日就任】



小坂町消防団  
亀田 晃



美郷町消防団  
佐々木 吉則



羽後町消防団  
原田 千代志



東成瀬村消防団  
小田原 克己

第80期初任教育始まる

54名が新たな一歩を踏み出す

秋田県消防学校

秋田県消防学校の初任教育第80期入校式が4月10日(金)県内12消防本部から54名の入校生並びに来賓、家族などが出席し同校屋内訓練場で行われました。

入校式では、木内英明 校長の式辞に続き、神部秀行 秋田県副知事あいさつ、佐藤良和 秋田県消防長会長、樋渡 徹 秋田県消防協会長が祝辞を述べ、入校生を代表し秋田市消防本部 工藤大河 消防士が宣誓を行いました。

初任教育は、9月17日まで行われ、消防隊員として活動できる能力を養成します。





初任教育第80期入校生名簿

秋田市消防本部

佐藤	翔太	工藤	大河
小松	飛翔	平沢	優初
伊藤	優星	佐々木	桜太
今野	佑亮	赤川	心音
今野	光希	今野	飛勇
佐々木	陽	石川	創万

大館市消防本部

三浦	蓮	工藤	佑太
----	---	----	----

北秋田市消防本部

菊地	秀虎	渡邊	佑真
菊池	泉士郎	斎藤	乃翔

由利本荘市消防本部

本間	凜子
----	----

にかほ市消防本部

菊地	叶聖
----	----

横手市消防本部

佐藤	杏奈	大坂谷	輝
佐藤	陸斗	小林	想空
泉谷	悠和	眞田	空一
高橋	遙太	佐藤	
石垣	健心		

五城目町消防本部

船木	大史
----	----

鹿角広域行政組合消防本部

原田	愛輝	平	誠也
蛇沼	大斗		

能代山本広域市町村圏組合消防本部

白鳥	武蔵	北村	琳
----	----	----	---

男鹿潟上南秋消防組合男鹿潟上消防本部

伊藤	大洋	腰丸	徠雅
----	----	----	----

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

坂本	春空	佐藤	優天
仙波	憲太	佐々木	隼翔
菅原	大翔	藤村	祥祥
佐藤	大駕	進藤	翔太
富樫	快飛	三浦	大輝
三浦	祐登	袴田	瑠哉

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

齋藤	蒼維	柿崎	光哉
佐藤	健心		

秋田県消防学校職員名簿

校 長	木 内 英 明
副 校 長	原 田 訓

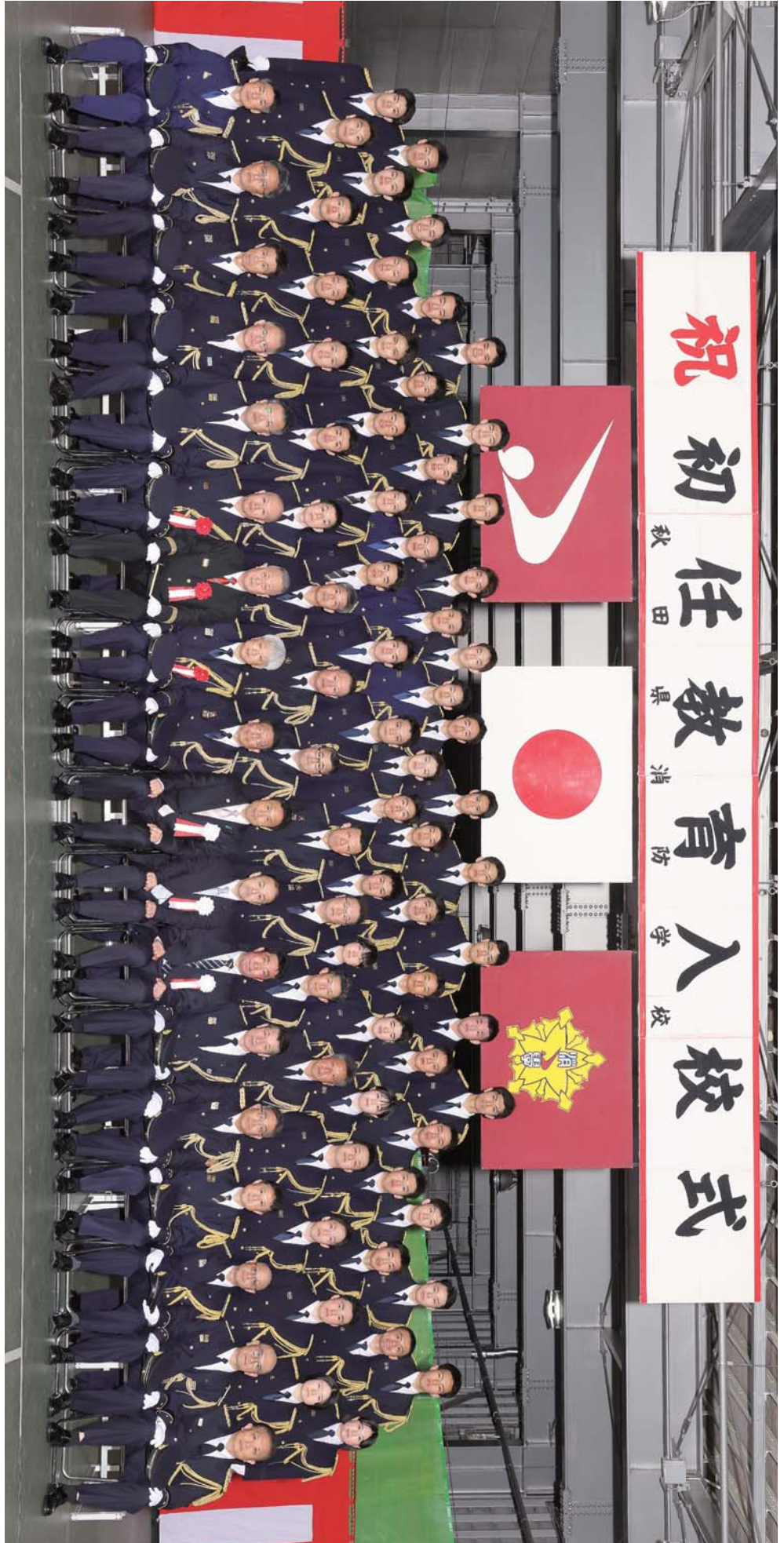
(秋田市消防本部)

総務チーム

チームリーダー	齋藤	志保
副主幹	今野	武仁
主 事	菊地	彩香
主 事	中川	加奈子
技能主任	川上	和義
非常勤職員(舎監)		
	吉成	勉
非常勤職員(舎監)		
	鎌田	千尋
非常勤職員(舎監)		
	川辺	伸治

教務チーム

チームリーダー	池田	敏英
シニアエキスパート	大野	光徳
(併)副主幹	簾内	雅弘
(秋田市消防本部)		
(併)副主幹	草彅	聡
(大曲仙北広域市町村圏組合消防本部)		
(併)副主幹	小松	圭介
(由利本荘市消防本部)		
(併)副主幹	小野	栄士
(能代山本広域市町村圏組合消防本部)		
主 任	清水	翔太
非常勤講師	伊藤	弥真彦



## 第80期初任教育

## 1ヶ月を振り返って

秋田県消防学校

工藤 大河  
(秋田市消防本部)

消防学校に入校してからの一ヶ月は、今まで経験したことのない毎日の連続で、心身ともに大きく成長できた期間だった。消防士という仕事に昔から憧れを持っており、入校前は「かつこい仕事」という印象が強かった。しかし、実際に消防学校で生活してみると、その憧れだけでは乗り越えられない厳しさがあり、強い覚悟と責任感が必要な仕事だと実感した。

最初は慣れない集団生活や厳しい規律、早朝からの訓練についていくことで精一杯だった。整列や報告など細かな行動一つにも意味があり、消防士としての基本を徹底して学んでいる。また、体力錬成では自分の未熟さを痛感し、苦しいと感じることも多かったが、同期と励まし合いながら乗り越えることで仲間の大切さを学ぶことができた。

時には厳しい指導を受けることもあったが、それは市民の命を守る消防士になるために必要なことだと感じていた。この一ヶ月を通して、消防士になるという覚悟がさらに強くなった。これからも初心を忘れず、

知識や技術を身につけ、一人前の消防士を目指して努力していきたい

小林 想  
(横手市消防本部)

消防の目的とは、「国民の生命、身体及び財産を火災から保護すること」であり、これは先日の講義で学んだ消防法第一条である。

4月27日に、それぞれの所属に戻り、実務研修があった。この一ヶ月で最も印象深い一日だったと振り返る。

研修が始まり、朝の大交代を終えた直後「水難救助」の出動指令が署内に鳴り響き、職員全員の目の色が明らかに変わった瞬間を目の当たりにした。出動の際には、出動する人だけではなく、出動しない人も含め全員が出動のための準備やサポートを行っていた。この迅速な行動に強く感銘を受けると同時に、私が目指すべき姿へ到達するためには、今の自分では実現が難しいものであり、さらなる努力を重ねなければならぬとも感じた。これからは過ごしていくうえでとても貴重な一日となった。消防士となった今、私の憧れであった消防の目的は、憧れだけで終わらせてはならず、これから自分が成し遂げるべきものである。

残りの消防学校での、自分自身の行動が、その目的に見合うものなのかをよく考え、努力を重ねていきたい。

坂本 春空  
(大曲仙北広域市町村圏組合消防本部)

消防学校に入校してからの一ヶ月は、今までの環境と変わり心身ともに大きく成長できた充実したあつという間な期間だった。入校当初は、規律ある集団生活や時間厳守、報告、連絡、確認の徹底など、慣れないことばかりで戸惑う場面も多かった。

しかし、日々の生活指導や訓練を通して、消防士として必要な基本姿勢は技術以前に「規律」と「責任感」であると実感した。訓練面では、体力錬成やロープ結索、規律訓練、小隊訓練、消防活動の基礎となる動作を繰り返し学び、少しずつではあるが自分の成長を感じることができた。一方で、動作の正確性や報告の質、細かい部分への意識不足など、自分の未熟さを多く痛感した。特に、焦りから手順、呼称を間違えてしまったり、指示の意図を深く理解せずに行動してしまったりした。

また、仲間と支え合いながら厳しい訓練を乗り越える中で、個人の力だけでなく、チームワークの大切さも改めて理解した。この一ヶ月で得たのは知識や技術だけでなく、消防士としての土台となる立ち振る舞いである。

今後も初心を忘れず、指摘を素直に受け止め、仲間と切磋琢磨しながら、現場で信頼される消防士を目指し努力を続けていきたい。

本間 凜子  
(由利本荘市消防本部)

3月末に東京から秋田に引っ越してきて、あつという間の一ヶ月だった。今までの生活環境と一変して、初めてのことや慣れないこともあった。入校前は不安なことだらけだったけれど、入校してからは同期がいたから心強く、不安なことは少なくなった。

学校生活や寮生活には慣れたが、本格的に訓練や授業が始まるともに、自分にできるのかという不安が多かった。勉強も訓練も頑張りたいという思いはあるが、もともと中途半端で詰めが甘い性格なので、きちんとできるか不安な部分が大きい。大学時代から部活の選手たちとトレーニングをすると、自分に甘い指摘されることが何度かあった。半年間でそのような自分を変えたいと思う。

放課後に体力錬成をし、少しずつ腕立ての回数が増え、懸垂もほんの少し上がるようになってきた。今後毎日継続して、懸垂をできるようにになりたい。また、今までは誰かと一緒に努力するという経験はあまりなかったが、この半年間で学んでいきたい。また、共に頑張るといふ経験をたくさん積んでいきたい。



齋藤 蒼維  
(湯沢雄勝広域市町  
村圏組合消防本部)

入校して早くも一ヶ月が経った。入校式の時は、これから長い六ヶ月が始まるんだなと遠くを見ていた。

しかし、実際に一ヶ月を過ごすこともあつたという間に感じた。4月の目標に立てた消防学校に早く慣れるという目標は、達成することが出来た。最初は、この六ヶ月間を続けていけるかという不安しか自分の心には無かったが、とても良い同期と教官達に恵まれたおかげで、何とか続けていける自信を芽生えさせることができて良かった。4月がこのペースで終わるといふことは、これからは、もっと早いペースに感じることになるだろうと思っている。そのため、残りの学校生活を一日でも無駄にしないよう、一日一日の座学、訓練、体力錬成の時間を大切にしていきたい。分からない部分があつたらそのまましておくのではなく、すぐに教官に聞くなどして自分の自信につなげていき、現場に実際に出した時に、自分が何をしなければならぬのかを自分で考え行動できるようにしていきたい。この半年間という長いようで短い期間で一人前になれるようにしていきたい。

また、一人の人間としても感謝を忘れず成長できるように常に自覚し、日々励んでいきたい。

### 支部情報アラカルト

#### 防災リーダー養成講習を開催

大館市消防団では、令和8年4月5日に防災リーダー養成講習を開催しました。

この講習は、地域防災の中核を担う消防団員が、地域住民や自主防災組織と連携しながら、災害発生時や防災訓練で先頭に立って活動できる人材を育成することを目的として実施しているものです。春と秋の年2回、計2日間の日程で開催しており、消防団員として必要な知識や技術の習得だけでなく、地域防災を推進するリーダーとしての資質向上も目的としています。



当日は、消防に関する基礎知識や災害対応に関する座学講習のほか、災害図上訓練(DIG)や初期消火訓練、簡易救出訓練などの実践的な訓練を実施しました。参加した団員は、それぞれの訓練に真剣な表情で取り組み、災害時に想定される様々な状況への対応方法について理解を深めていきました。

また、訓練を通じて団員同士が意見交換を行うなど交流も活発に行われ、所属分団の垣根を越えた連携強化にもつながる有意義な機会となりました。

近年は自然災害の激甚化・頻発化により、地域における消防団の役割がますます重要になっていきます。大館市消防団では、今後も時代や地域の实情に即した訓練や研修を企画・開催し、消防団員の知識・技術の向上に努めてまいります。



#### 火災の発生状況(速報値)

(秋田県総合防災課消防保安室調べ)

	令和8年		令和7年			同期比較	
	5月	累計	5月	累計	年計	5月	累計
建 物	8	67	9	88	186	- 1	- 21
林 野	5	17	3	4	7	2	13
車 輛	4	15	5	15	28	- 1	0
その他	12	46	3	12	54	9	34
合 計	29	145	20	119	275	9	26
死者数	0	8	2	10	16	- 2	- 2
負傷者数	2	13	5	30	51	- 3	- 17

(情報提供) 大館北秋田支部

